

「私たちが放射能を忘れても、放射能は私たちを忘れてくれません。」

人々の意識から原発事故と放射能問題を消してはいけないと思います。

ごくごく小さいアクションでも、何かを変えることができると思います。

日常に気づきを！気づきから、正しい認識へ！

この小さなアクション集は、その“きっかけ”を作ることを目的としています。

『語るアクション』

★ 電車、タクシー、バスの中で、放射能や原発についてのディスカッションをする。

★ 食品売り場で子供や友人と、安全な食品についての話をする。

★ 隣に誰がいるところで、瓦礫阻止の電話や食品メーカーへの問い合わせをする。

★ 美容室やマッサージルームの雑談で、何気なく放射能の話題を持ち出す。

(世田谷のニュースなど、ちょうどその時に話題になっているニュースからだど話題に入りやすいです。

業種的に穏やかな人が多いので、放射能の話題も素直に聞いてくれることが多いです)

★ ほんの一言だけで気にさせる作戦

「牛乳からフベクレルって、“やばいよね”」

何が“やばい”のか、聞いた人の心にひっかかります。

★ ひとこと宣伝 (例.「今度、どこどこで勉強会があるよ。」)

★ 一枚のチラシ (例.「友人が主催してるんで、興味があったら参加してみてください」など)

『いきつけのお店 アクション』顔なじみ、常連は強い！

★ 放射能に関する本や、ピラを置いてもらう。協力を呼びかける。

(例. 私はいきつけの整体院3箇所、武田先生の本を待合室に置いてもらうことに成功しました。健康に興味を抱く人が多いと思うので、脱原発の話ではなく放射能の人体への影響に関する本を選択しました。)

脱原発だと“思想”だと思われるようなので、放射能関連の本の方が無難です。

お願いした院の皆さんは、快く引き受けてくれたうえ、積極的に活動に協力してくれるようになりました。放射能を気にするお客さんにアドバイスをするといったことまで、日々行なっていると報告してくれています。

『教会・お寺・神社にお頼み申す作戦』

すでに活動している坊さんや牧師さんも多いです。

声をかけやすいところだったら、資料などを渡して協力を呼びかけてみてください。

『資料の配布作戦』

☆ 地元の線量マップを作成し、配布

今、自分の住んでいる地域の放射線量が気になっている人が多いです。

「この辺の測定地図あるけど」というと、「ありがとう」ともらってくれるケースは多いです。

『お願いアクション』

☆ スーパーのご意見箱の活用。

(例. 「検査をしっかりとしてほしい」「西日本の野菜が少ない」「ベクレル表示を」など、意見を書いた用紙を提出。)

☆ ショッピングモールのご意見箱の活用

(例. 「敷地内の放射線量を測定して、線量が高いところはすぐに対処してほしい。」

「ガイガーのレンタルをしてほしい」「食品の測定器を設置して欲しい」など)

☆ 本屋の店員さんに要望を伝える

(例. 「この町でもミニスポットが見つかったというので急いで本を探しに来たが、見つけにくかった。

わかりやすいようにコーナーを作って欲しい」など。)

本屋はオーナーの意識の違いが本の配置、陳列に現れているようです。

原発問題は収束したとされていてコーナーを取り下げちゃっている本屋もあれば、

放射能問題は今後も継続する大問題だ！と、店頭が一番目に付きやすいところに

コーナーを設けている本屋もあります。

『尋ねるアクション』

☆ 食品売り場の人に、お店の放射能対策についてさりげなく聞いてみる。

☆ 本屋に置いていない原発、放射能関連の本を、わざわざ注文して取り寄せてもらう。

☆ パン屋さん、お弁当屋さん、お惣菜屋さん、原料や野菜の産地などを尋ねる。

個人店の意識が低いままだと、内部被曝の発信地になってしまいます。

お客が気にすると店も気にせずにはいられません。「うるさいなあ」という、意識の低いお店かどうか、チェックするのも

自衛の手段の1つです。

複数のパン屋に原材料を聞きまくって、安全なパンリストを作った方もいます。

『見せるアクション』

キーワードは“一目瞭然”。文字より“絵”を効果的に使ってください。

メッセージ性の強いものが好ましいです。

また「見せるアクション」は自然と展開して、「語るアクション」に運ぶことが多いです。

★ 車の窓(バック、サイド)に A4 版くらいのプラカード(紙だけでもいい)を設置する。

後方または横の車から見えます。運転中、駐車中にアピール！



★ 車、自転車に“脱原発ステッカー”を貼る。

★ あかつぶ缶バッジをつける。 <http://blog.livedoor.jp/akatubukan/>

★ 年賀状、手紙に一言つけ加える。または、メッセージの入ったシールを貼る。

ただし印象が大事なので、明るいメッセージを。

(○ 自然エネルギーでクリーンな社会を。 × 放射能危険！)

★ カフェやレストランで飲食しているときは、テーブルにチラシを置いておく。

カウンターのような席で、目立つ色調のチラシだと効果大です。

自分のスペースからはみ出さないように置きましょう。

★ 屋時のテーブルの席取りの時に、チラシを目印として使う。(荷物と一緒に置く)

フードコートのような場所です。

★ ミニスポット探してます作戦(ガイガー持ってますよアピール)

話しかけたらたら、ミニスポットの危険性を軽く話したり資料を見せたりするといいです。

★ 赤つぶプリントTシャツや、赤つぶエコバッグを外で使う。

ただ、ちょっと勇気がいるので臨機応変に出したり、隠せたりするほうが良い。

たとえばバッグは、私は比較的空いている電車で座っているときにだけ、プリントエコバッグを出して

膝の上に寄せようと計画中です。

プリントは、アイロンプリントのキットが売っています。Tシャツやバッグの印刷も廉価でできます。

印刷に出す

段階でも店員さんが見ますので、自然と情報の拡散になります。

★ オリジナルグッズを作ってみよう。

ありとあらゆるものに好きなデザインがプリントできます。

(マグカップ、タンブラー、文具、スマホケース、クッション・・・)

例えばココ→Tシャツ、バッグなどにオンデマンドでオリジナルプリント <http://originalprint.jp/>

オリジナル商品が1個から廉価で作れる便利な時代になりましたね。

楽しいですし、プリント屋さんへ注文する段階で、情報の拡散となります。(実績あり)

『ネット アクション』

★ ユーザーネームの変更

(例. "脱原発""チェルノブイリ"などを入れる。)

Amazon では、NGワードもあるので、言葉選びに気をつけてください。

★ メールアドレスの変更

(例. genpatsu-iranai@***.com など)

★・・・実績あり。実行済み。苦情を受けたことがない活動のみを掲載していますので、安心して実行していただけます。

(笑)

★・・・まだ実行されていない案です。